



どくしょかんそうが
読書感想画 (指定図書)

ていがくねん
低学年



ほん よ え
本を読んで絵をかいてみよう！



ガリア・
バーンスタイン／作
あすなる書房
定価：1 512 円 (税込)

『サイモンは、ねこである』
「ぼくたちにてますね」こねこがいうと
ライオンたちはおおわらい。だけど、
よくみると……。



玉城永吉／作
教育画劇
定価：1 404 円 (税込)

『ねんにでもレナール！』
コックさん、しょうぼうしさん、でんしゃ
のうんてんしゅさん。レナールのすてき
なまほうではやがわり！



原 知子／作
くもん出版
定価：1 296 円 (税込)

『いちにちだけうさぎ』
ねんにいちどのうさぎのひ。みんなうさぎ
になっちゃった。がっこうは？きゅうしょく
は？ふしぎないちにちはじまるよ～



きたじまごうき／作
汐文社
定価：1 296 円 (税込)

『ミウのはなまるなつやすみ』
なつやすみのじゅうけんきゅう。しんし
ゆのさかなをかんさつちゅう。ドキドキの
まいにちがはじまります。



はせがわさとみ／作
くもん出版
定価：1 404 円 (税込)

『ホカリさんのゆうびんはいたつ』
ホカリさんはちいさなまちのゆうびん
やさん。あるひ、たぬきのこから、おひ
さまにてがみをとどけてほしいとたの
まれて……。



ファウズウア・ギラニ
ウィリアムズ／
作
光村教育図書

『イードのおくりもの』
イスマトはおまつりにかぞくのおくりも
のをよういし、じぶんように、ズボン
をかいます。だけど、ズボンのすそがなが
くて……。



どくしょ かんそう が してい としよ
 読書 感想 画 (指定 図書)



ちゅうがくねん

中学年 2018

ほん よ え

本を読んで絵をかいてみよう！



『だいぶつさまの
うんどうかい』

荻田澄子作
アリス館

きょう さいま うんどうかい
 今日はだいぶつ様たちの運動会。
 たまい く きょうそう からだ
 玉入れ、まんじゅう食い競争。体の
 おお さいま しっぱい
 大きなだいぶつ様は失敗ばかり。でも
 くみだいそう
 組体操の時間に……。



『ピンクのドラゴ
ン
さがしていま
す』

あんびるみせすこ / 作
 トラブルがあるとシルクのお店にやって
 くるたんてい魔法デー。今度はスピカ
 おばさんのドラゴンがきえたと、ポスター
 をはりに来ました。



『りすのきょうだい
ふしぎなた
ね』

小手鞠るい作
金の星社

きょうだい ひか たね
 りすの兄弟はふしぎな光るタネを
 み もり としょかん い かんちょう
 見つけました。森の図書館に行き、館長
 み
 に見せますが……。ふしぎなたねは何
 なのでしょうか？



『天馬のゆめ』

ばんひろこ作
新日本出版社
定価：1512円(税込)

くんれんよう つく ちい ひこうき
 訓練用に作られた、小さな飛行機
 てんま てんま かる おおぞら
 「天馬」。天馬は軽くて大空を駆けぬけ
 ることができました。ところが……。



『ちっちな木の
はなし』

ばんひろこ作
新日本出版社
定価：1512円(税込)

き しあわ は
 ちっちな木は幸せでした。葉っぱは
 あお ともだち あき
 青くしげり、友達もいっぱい！やがて秋
 き なに て ゆうき
 が来て……。何かを手ばなす勇気を
 つた えほん
 伝える絵本です。



『シランカッタの
町で』

さえぐさひろこ / 作
フレーベル館

ふしぎなまんげきょうに導かれ、たどり
 すないろ まち
 ついた砂色の街・シランカッタ。そこでか
 ずきが出会ったのは「もうひとりの
 てあ
 自分」キズカだった！



2018 読書感想画 (指定図書)



こうがくねん
高学年

ほん よ え
本を読んで絵をかいてみよう！



『弓を引く少年』

大塚菜生/作
国土社
定価：1404円(税込)

あこがれのハルおじの強い願いを
受けて、弦はまた馬に乗ることに。馬上
から弓を引的を射る、流鏝馬神事に
出るためだ。だが……。



『狐霊の檻』

廣嶋玲子/作
小峰書店
定価：1620円(税込)

富と権力をほしいままにする阿豪家に
とらわれた狐霊あぐりこ。あぐりこを
逃すため、少女は命をかけて阿豪家に
立ち向かう……。



『神隠しの教室』

山本悦子/作
童心社
定価：1728円(税込)

授業時間中に子ども達5人が姿を
消した。そうさくを続けるなか、子ども
達から連絡が。私達は今、もうひとつ
の学校にいます。



『ハルと歩いた』

西田俊也/作
徳間書店
定価：1620円(税込)

小学校を卒業した春休み、迷い犬の家
さがしをすることになった陽太。犬と
歩くと、町もまわりの人も、前とはちが
って見えて……。



『ぼくとベルさん』

フィリップ・ロイ
著

読み書きが苦手で、周囲との違いに
悩み苦しむ少年、エディ。電話の
発明家、ベルさんとの出会いが、彼の
人生を大きくかえていく。



『私の苦手なあの子』

朝比奈蓉子/作
ポプラ社

小学校最後の夏休みに出された「苦手
なものをこくふくする」宿題。ミヒロが
提出用紙に書いたのは、仲良くなれない
あの子の名前……。